

[学会情報]

2018年 第69回 ASEV National Conference 参加報告

井上 絵梨

山梨大学ワイン科学研究センター

Reports on 69th ASEV National Conference

Eri INOUE

The Institute of Enology and Viticulture, University of Yamanashi

2018年の第69回 ASEV National Conference は2018年6月18日から21日にかけて、カリフォルニア州モントレーの Portola Hotel & Monterey Conference Center にて開催された。



図1 会場となった Monterey 市街地

一般参加者の実質の大会初日である6月19日には Brettanomyces Symposium (ブレタノマイセスについてのシンポジウム) に参加した。Nichola Hall 氏らによる企画で、ブレタノマイセスの遺伝学的研究に関する報告、ワインの呈味に及ぼす影響についての報告、そしてブレタノマイセスのコントロール法など計9題が発表された。これまでブレタノマイセスがワインに与え

る影響については多くの研究がなされており、今回のシンポジウムで包括的な知識および最新の研究報告を得ることができ、非常に有意義なシンポジウムであった。



図2 Brettanomyces Symposium にてテイasting (Portola Hotel & Monterey 内)

翌日20日の午前中は Enology と Viticulture の分野に分かれての口頭発表だった。各5題ずつ発表が行われた。今年は Enology ではポリフェノールに関する研究報告が多かった。その後、Patty Skinkis 博士による ASEV Extension Distinction Award Presentation の講演や、Véronique Cheynier 博士による 2018 Honorary Research Lecture の講演(演題: ワインタンニンと色素について)などが行われた。午後は Keynote Presentation にて、Mark Matthews 博士による醸造用ブドウの品質についての講演があった。夕方からは、一部のポスター発表者(学

生)によるショートプレゼンテーション, Student Flash Talks を拝聴した. 約 40 名の学生が 3 分という短い制限時間内で自身の研究内容を発表した.

夜は, ポスター発表と同時に The Monterey County Regional Wine Reception が開催された. 筆者自身もポスター発表を行い, 様々な研究者や学生の方から質問やアドバイスをいただくことができ, 今後の研究活動へのモチベーションが高まる良い機会であった.

論文賞の受賞講演などが行われた.

第 69 回 ASEV National Conference では最新の研究報告を聞くことができ, とても勉強になった. 今回の貴重な経験を今後の研究活動に生かし, 精進していきたい.

以上



図 3 口頭発表会場の様子 (Portola Hotel & Monterey 内)

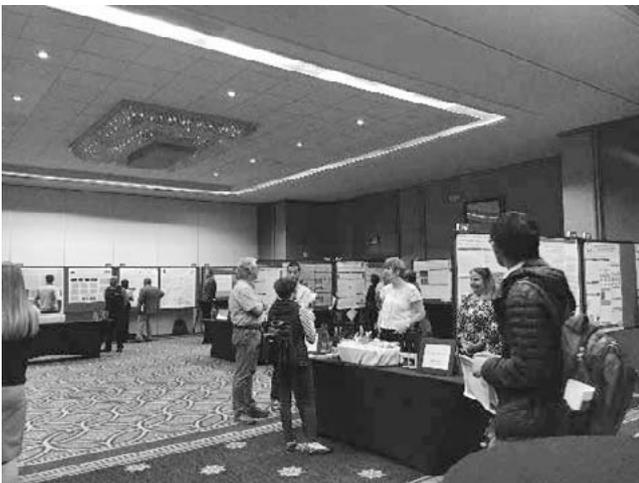


図 4 ポスター発表および The Monterey County Regional Wine Reception 会場の様子

21 日は, 前日同様 Enology と Viticulture の分野に分かれての口頭発表が行われた. また, Terry Acree 博士による 2018 ASEV Merit Award Presentation の講演の他,